

令和5年度第1回 独立行政法人国立重度知的障害者
総合施設のぞみの園運営懇談会議事要旨

令和5年10月23日(月)
13:30~15:00
文化センター

I 開 会

II 理事長挨拶

III 議 事

1. 独立行政法人評価に関する有識者会議について
 - (1) 令和4事業年度の業務実績評価について
 - (2) 第4期中期目標期間(平成30年度~令和4年度)実績評価について
2. 入所利用者の状況
3. のぞみの園における業務の取組状況
 - (1) 新型コロナウイルス感染症への対応(令和5年度上半期)
 - (2) 著しい行動障害を有する者への支援
 - (3) 矯正施設を退所した知的障害者への支援
 - (4) 医療的ケア事業について
 - (5) 令和5年度実務研修等について
 - (6) ターミナルケアについて
 - (7) 日中支援型グループホームについて
4. 令和5年度 調査・研究テーマ
5. 令和5年度 セミナー・研修会の実績、予定
6. 事故等の報告について

V 閉 会

【議事に対する主な質疑(○:委員、●:のぞみの園)】

1. 独立行政法人評価に関する有識者会議について
 - (1) 令和4事業年度の業務実績評価について
 - : 令和4事業年度の業務実績評価について、施設入所利用者の地域移行の目標は5人であるが、実績が0人であったことについてどのように考えるか。
また、今後、入所利用者が高齢化するにつれて地域移行は難しくなるものと推察するが、その目標についてどのように考えているか。
 - : 入所利用者の高齢化・重度化が進み利用者や家族から地域移行の同意を得ることや、受入先事業所の確保が難しくなっている中で、すべての保護者に「日中サービス支援型グループホーム」の地域移行に向けて、関心のあった保護者に説明会等を実施するなど、地域移行に向けた取組みを進めたことに対し評価を得た。
第5期においては、目標に掲げた目標数については既に日中サービス支援型グループホームに地域移行された利用者がいたため達成している。高齢化が進み地域移行できる利用者もいなくなってきたが、今後においても体験利用等の実施及び環境

を整え、地域移行ができる利用者については進めていきたい。

○：援助・助言については、どのように行っているのか。

●：援助・助言については、基本的に障害者支援施設や行政機関等から受けており、電話による相談が主となっている。

内容については、強度行動障害を有する者の支援に関することが多くなっている。

3. のぞみの園における業務の取組状況

(2) 著しい行動障害を有する者への支援

○：移行を目標100%としているが、5年度は、移行者数が増えて、受入れ者数が増えているので、今後どんな見通しになっていくのか。

●：第4期はコロナ禍の関係で予定通り進まなかったが、基本的に2年で退所することができているので、今後は目標に向けて受入、退所することを目指して進めている。

○：強度行動障害のコンサルテーションはどのように行ったのか。

●：事例を持ち寄り、実際のPDCAサイクルを、助言を受けながらコンサルテーションを行っている。

○：有期限の2年間というのは、入所してきた方にとってうまく支援体制が整う期間としては、適切な期間なのか。

●：事例により、特性配慮で落ち着いたら早期の退所もあり得ると考察する。

○：移行先に対する情報提供はどのように行っているか。

●：まずは移行先の職員に現場を見ていただいた後、当法人の職員を派遣し一緒に受入れる環境の選定を一緒に確認しながら行っている。また、支援が崩れた場合も職員を派遣するなど行っている。

(4) 医療的ケア事業について

○：どのような利用者を想定しているのか。

●：施設で導尿の管理や酸素療法等が必要な利用者を想定している。

(6) ターミナルケアについて

○：ACP や人生会議は取り扱いが難しい問題だと思うが、今後どのように情報発信をする予定なのか。

●：ACP については、高齢化が進み意思の確認が非常に難しくなってきているので、早期での人生会議を進めるよう取り組み、積極的に情報発信していきたい。